

# DxO PhotoLab



## リリースノート

バージョン 3.3.2

### Mac

#### 必要構成

- Intel Core™ i5 以上
- 4 GB の RAM (6 GB 推奨)
- 2 GB の空き容量のあるハードディスク (6 GB 推奨)
- OS X 10.13 (High Sierra)、10.14 (Mojave)、10.15 (Catalina)
- GPU アクセラレーションを利用するための 512 MB 動画メモリーを搭載したグラフィックカード

## DxO PhotoLab 3.3.2 の新機能

- 画像情報のコンテキストパネルの表示／非表示を切り替えられるようになりました
  - **バグの修正**
    - クロップツールで、アスペクト比の制約が適切に機能していなかった一部のケースで、操作が修正されました
    - バックグラウンドで機能した後に、PhotoLab が動作を正しく再開するようになりました
    - マイナーバグの修正
- 

## DxO PhotoLab 3.3.1 の新機能

- **バグ修正**
    - 一定数の修正を含む画像に対するアプリケーションのパフォーマンスが、大きく改善されました
    - いくつかのシナリオで安定性が改善され、アプリケーションがクラッシュしました
    - インターフェイスのコンテキスト表示の管理が改善されました
    - 手動モードでクロップツールを使用する際に、アスペクト比がランダムに変わらなくなりました
    - DNG 形式でのエクスポートに、適切なカラープロファイルが含まれるようになりました
    - マイナーバグが修正されました
- 

## DxO PhotoLab 3.3 の新機能

- Nik Collection 3 との互換性:
    - Plugin Selector から新しい Perspective Efex プラグインにアクセスできます。
    - 非破壊 ワークフローを使用して、元のファイルをエクスポートできます。
  - 新しいカメラのサポート
    - Mavic Air
    - X-T200
    - X-A7
    - Coolpix P950
    - PEN E-PL10
    - TG-6
    - Lumix DC GF10/GF90/GX880
  - **バグの修正**
    - マイナーバグの修正
- 

## DxO PhotoLab 3.2.1 の新機能

- **バグの修正**
    - プリセットで使用した際の修正ツールの自動モードの動作が修正されました
    - 拡張子非表示のファイルを PhotoLab で適切に検出できるようになりました
    - バージョン 3.2 にアップグレードした際にキーワードが非表示になるバグが修正されました
-

## DxO PhotoLab 3.2 の新機能

- 部分調整機能関連の改善
  - 調整マスクを部分調整パレットから複製したり、右クリックすると表示されるコンテキストメニューから複製できるようになりました
  - 部分調整パレットでマスク名を変更できます
- キーワード管理の改善
  - 複数の写真を選択した場合に、複数の写真に共通したキーワードを視覚的に区別できるようになりました
- 修正ツールの改善
  - ソース領域の自動選択は、補正する領域の作成時に一度だけ行われるようになりました
- 新しいカメラのサポート
  - Canon EOS-1D X Mark III
  - Leica D-Lux 7
  - Leica Q2
  - Nikon D780
  - Olympus OM-D E-M1 Mark III
- バグの修正
  - Catalina に関連したデータベースのアップデートについてのメッセージは、必要な時にだけ表示されます
  - ネットワークハードディスクに保存されている写真が、正しく表示されます
  - フィルムストリップで、写真が正しくプリロードされます
  - 修正ツールのカーソルが、すべてのケースで正しくアップデートされます
  - リフレーミング率の順番が修正されました
  - 複数のパレットを段階的に閉じた場合でも、パレットの有効化ボタンが消えなくなりました
  - バーチャルコピーがあらゆるケースで正しく表示されます
  - 読み取り専用ファイルを消去した場合に、正しく動作するようになりました
  - お気に入りフォルダからエクスポートした場合に、フィルムストリップの選択を消していたバグの修正
  - 部分調整パレットの安定性の向上
  - PhotoLab の安定性の向上
  - マイナーバグの修正

---

### DxO PhotoLab 3.1.3 の新機能

- PhotoLab の安定性の改善
  - マイナーバグの修正
-

## DxO PhotoLab 3.1.2 の新機能

- Catalina がインストールされているセカンダリパーティションでイメージを開くときの問題を修正しました
  - マイナーバグの修正
- 

## DxO PhotoLab 3.1.1 の新機能

- パフォーマンスの改善とマイナーなバグの修正
- 

## DxO PhotoLab 3.1 の新機能

- 部分調整に関する修正
    - 部分調整パレットで、レイヤで利用できるアクションに右クリック(コンテキストメニュー)でアクセスできるようになりました
    - 写真上の部分調整表示アイコンが、邪魔にならないようにサイズが小さくなりました
    - 部分調整のアクションとツールにキーボードショートカットを使ってアクセスできるようになりました
  - 修正ツールの改善
    - ブラシが部分調整の動きと同じ動きをするようになりました
    - 修正領域がエッジで表示されるようになり、見やすく作業しやすくなりました
  - 新しいカメラのサポート
    - Canon EOS M6 mk II
    - Canon EOS 90D
    - Canon EOS M200
    - Fujifilm GFX 100
    - Nikon Z50
    - Olympus E-M5 mkIII
    - Sony A9 II
    - Sony A6600
    - Sony A6100
  - バグの修正
    - PhotoLab の安定性の改善
    - Catalina サポートの動作の改善
    - データベースの改善
    - マイナーバグの修正
- 

## DxO PhotoLab 3.0.2 の新機能

- バグの修正
    - PhotoLab 日本語版における修正ツールの名前の修正
    - ノイズ低減ツールのプレビューウィンドウで、一部の画像を 90° 回転で表示していたバグの修正
    - Retina ディスプレイでのファイルプレビューが正しく表示されるようになりました
    - ワークスペース「PL3 の新機能」の翻訳が修正されました
    - マイナーバグの修正
-

## DxO PhotoLabの機能

- **RAW と JPEG 画像の高画質な仕上がり**をワンクリックで実現できます。DxO PhotoLab は、インテリジェントな自動補正を実現する総合的なソリューションです。もちろん、手動で調整することもできます。
- **新しい色相/彩度/明度ツールと DxO ColorWheel** では、比類のない精度と柔軟性でカラーを調整できます。
- **改善された修正ツール**では、マニュアルで再配置したり、複製/修正モードの選択、ブラシのぼかしと不透明度の管理が可能です。
- **部分調整の新しいパレット**は、ブラシツール、段階フィルター、コントロールポイント (U-POINT®テクノロジー使用) のパワーを解放します。各マスクの表示/非表示を個別に切り替えたり、不透明度を調整したり、選択したゾーンを反転したりできます。
- **DxO フォトライブラリのキーワード管理**では、これまでにないやり方で写真を検索、ソート、整理できます。
- **DxO Clearview Plus** では、強いハロー効果を生じさせることなく白いモヤを効果的に除去して部分的なコントラストをスマートに強調し、写真の仕上がりの可能性を広げます。
- **DxO Smart Lighting** では、写真のダイナミックレンジを最適化し、露光アンダー/露光オーバーの領域のディテールを回復できます。
- **DxO P.R.I.M.E.**では、当社独自のアルゴリズムを使い、ディテールや鮮やかなカラーはそのままに、高感度 RAW 画像のノイズを自動的に除去できます。
- **U-POINT®テクノロジーを活用した部分調整の総合的なソリューション**：ブラシ、段階フィルター、コントロールポイントを使って、簡単にパワフルに写真を部分的に編集することができます。
- **歪み補正と光学シャープネス補正**：測光とキャリブレーションにおける DxO の評価の高い専門性を活用した補正で、お使いのカメラで撮影された画像の最高のディテールを引き出しましよう。
- **可能性がさらに広がったカラー管理**：ICC プロファイルに加え、DCP カラープロファイルがサポートされたことで、忠実にカラーを再現できます。
- **改善されたその他の機能**：
  - ホワイトバランスのカラーピッカーツールのサンプル範囲の表示
  - バーチャルコピー作成時のバーチャルコピーの自動選択
  - プロジェクトフィルターの新しいオプション
  - 画像にマウスを重ねると全メタデータを表示する新しいコンテキストウィンドウ
  - 最新のファイルと閲覧した場所にアクセス可能な新メニュー「最新の場所」
  - [メタデータ] タブでのファイルサイズの表示

## 既知の制約事項

- パース歪み補正ツールとボリューム歪像補正ツールを使用するには、DxO ViewPoint プラグインが必要です。
- データ量を削減する圧縮方式 (Lossy DNG) を使った DNG 形式のファイルは、サポートされていません。
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外の圧縮媒体で作成された DNG ファイルのサポートに関しては、いかなる保証も与えられていません。サポート対象外のカメラに対応した DNG ファイル (変換で作成されたか否かにかかわらず) はサポートされていません。